



### サーベルテンヤ

★サーベルテンヤは沼津発祥の超ライトなテンヤ釣法



### ルアー(ジギング)

★活性が高い日はフォール中のジグにもアタックしてくる



### テンピン仕掛けのエサ釣り

★テンピン仕掛けは、ノーマルがオモリ60~80号、ライトは30~50号

◎エサはサンマの切り身



▲夜タチは電動リールのスロー巻き上げが効く



▲小池船長は鑄込みテンピンを愛用

## 駿河湾沼津内港出船

# 沼津の夜タチは釣り方フリー&エキサイティング



◎仕掛けは鋭い刃によるハリス切れを防止する工夫が肝心



▲海面から20~40メートルの範囲に反応がビッシリ  
▼どこでタチウオがヒットするかを探り当て、アタリが出るタナを集中して狙う

撮影◎訓覇 啓雄



▲釣り場は富士山を間近に望む千本浜沖



★30~60グラム前後のサーベルテンヤにサンマの切り身をセット



▲メタルジグは80~100グラムを用意



▲夜のとぼりが降りると集魚灯がとる

良日はトップ30本以上と、10月を迎えて沼津の夜タチウオが調子を上げていく。  
当地の夜タチウオはアンカーを下ろして集魚灯で魚を寄せ、力強い釣りをする。釣り方は多彩でテンピン仕掛けでオモリ60~80号を使うノーマルタックルのエサ釣りやオモリ30~50号のライトタックル、ルアー(ジギング)、各種テンヤと思いきいのスタイルで楽しむ、ほとんどの船宿がオマツリさえしなければフリースタイルで遊べるところが大きな魅力。取材した沼津内港の秀丸が狙っているポイントは、港からほど近い千本浜沖の水深60~70メートル前後。夜釣りのタナは釣り始めこそ低いものの、徐々に上ずり海面下でアタックしてくることも珍しくない。夜タチならではの自由でエキサイティングな釣りを楽しもう。(詳細は56ページ参照)

